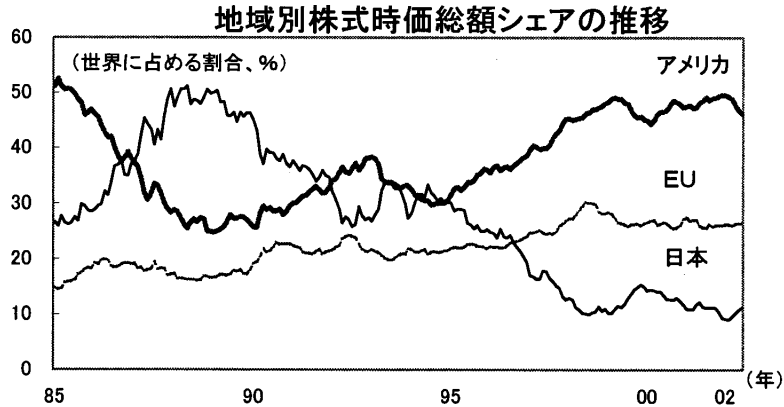


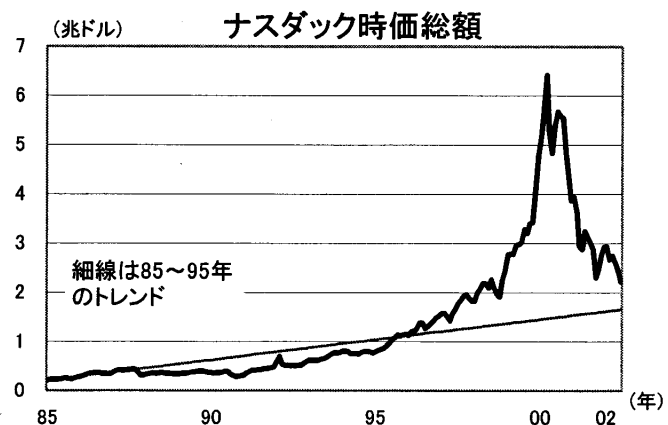
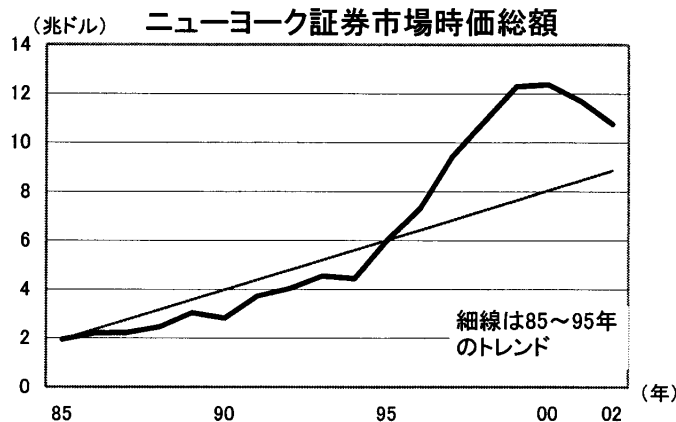
## アメリカ：IT分野では株価の調整がかなり進展

1. アメリカの株価は90年代後半に大きく上昇し、世界の株式時価総額に占めるアメリカのシェアが50%程度に高まった。その後、アメリカの株価は2000年3月をピークに下落しているものの、依然として世界の時価総額に占めるシェアは高い水準にとどまっている。

2. アメリカの現在の株価水準を株価収益率(PER)で測ると、本年6月末でも25.7となっており、過去の水準(80年代の平均は20.3)と比べ割高と言われている。



3. アメリカの時価総額の推移を市場別にみると、NY証券市場は85~95年のトレンドと比べて依然高いのに比べ、ナスダック市場においてはトレンドに近いところまで戻っており、IT関連銘柄において株価の調整がかなり進んでいることが示唆される。



(出所) データストリーム、ニューヨーク証券取引所、ナスダックによる。  
(注) データの直近値は、すべて2002年6月平均。